

8. 金刀比羅宮崇敬講社講帳調査

藤田 尚希

1. 概要

金刀比羅宮崇敬講社講帳（以下、講帳）は、近代において各地の金毘羅講が金刀比羅宮崇敬講社（以下、崇敬講社）に加入する際に金刀比羅宮（香川県仲多度郡琴平町）の中の講社本部に提出される講員名簿であり、講社本部に約 14,000 冊保管されている。同資料は 1990 年に明治大学を中心とするグループによって整理され、明治期を中心とする約 7,000 冊分については目録（圭室 1995）が作成されたが、その後の調査は停滞していた。こうした状況を踏まえ、この度、2023 年 10 月から講社本部にて明治期のものも含めた約 14,000 冊を改めて調査した。

2. 内容

以下の日程、調査員で調査を実施した。

調査日 2023 年 10 月 30 日、12 月 4・5・27・28・29 日、2024 年 1 月 15・16・29
①・30 ①・31 ① 日、2 月 1 ①・26・27・28・29 日、3 月 25・26
・27・28・29 日、5 月 1・2・3 日、8 月 1・2・3・4・6 ②・7 ②・
25・26・27・28 日、9 月 25・26・27・28・29・30 日

調査員 全日程…藤田尚希（4 回生）

①のみ…橋本唯、廣野勝、山下悠衣奏（以上 4 回生）

②のみ…竹井優太（4 回生）

講帳は 1 冊ごとに漢字の分類記号が振られており、その記号ごとに段ボール箱に収納されて講社本部の蔵に保管されている。今回の調査では、蔵からすべての箱を取り出し、1 冊ずつ主に表表紙と裏表紙を撮影した。また、未整理の約 7,000 冊については圭室（1995）にならい目録を作成した。その結果、全講帳の提出時期（図 1）や崇敬講社に加入した金毘羅講の分布（図 2）などが明らかとなった。また、講帳には崇敬講社に加入する際の取次を担当した金毘羅門前町（琴平町）の旅館の屋号も記されており、旅館と講の関係についても理解を深めることができた。なお、本調査の成果の一部は卒業論文「近代における金毘羅山麓定宿と講」にまとめた。現在は、写真を参照しながら、目録データの再確認、修正作業を進めている。

参考文献

圭室文雄 1995『金刀比羅宮崇敬講社講帳目録』金刀比羅宮社務所

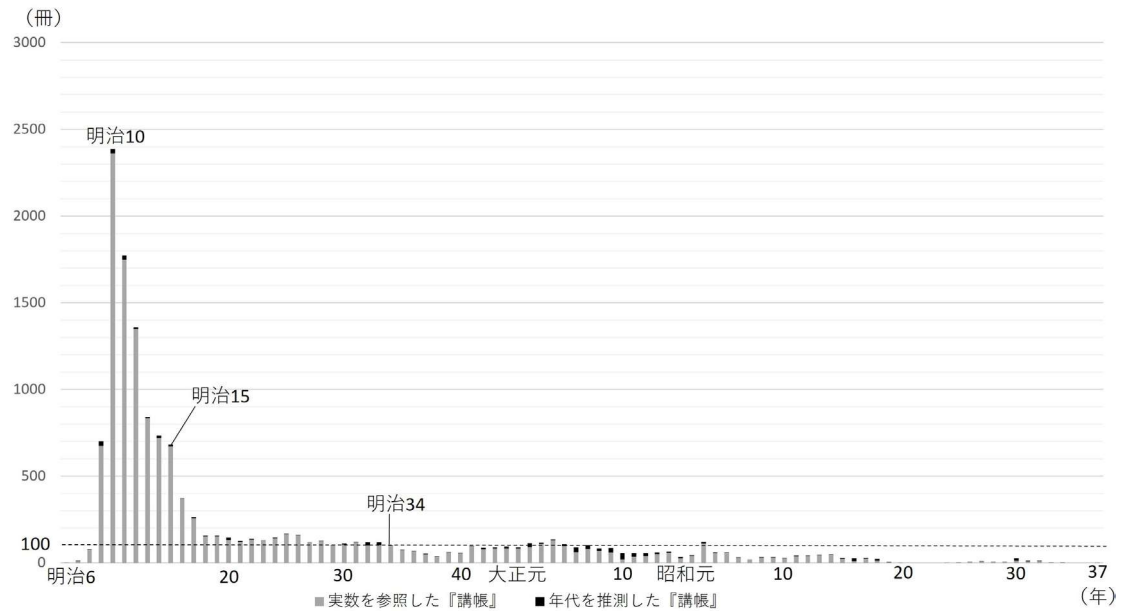


図1 講帳の年代別冊数

金刀比羅宮崇敬講社本部所蔵『金刀比羅宮崇敬講社講帳』、(圭室 1995) をもとに筆者作成

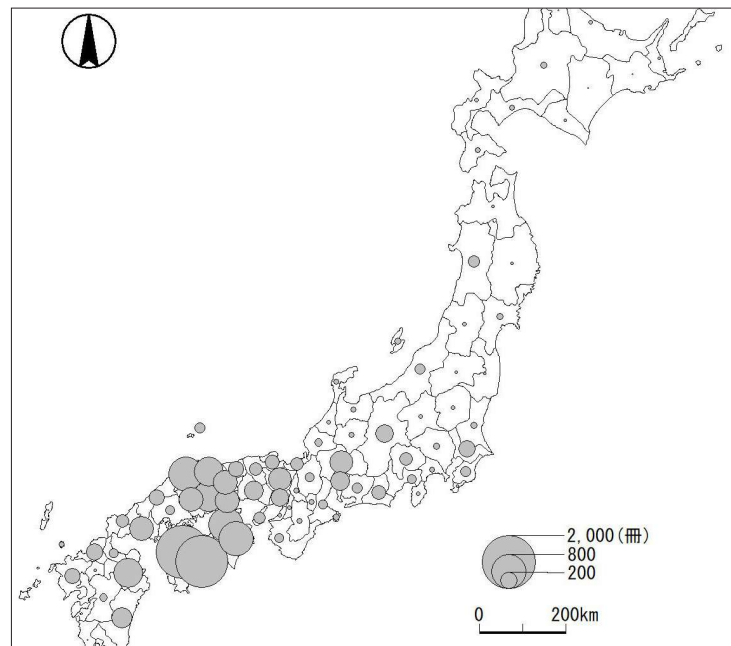


図2 講帳の分布

金刀比羅宮崇敬講社本部所蔵『金刀比羅宮崇敬講社講帳』、(圭室 1995) をもとに筆者作成

編集後記

余裕をもって仕事に取り組みたい。一つ仕事が終わる度に今度こそはと思うが、今回も果たせなかった。文字通りバタバタ。年末から長い師走が続いている。一つの救いは、春からのフィールドワークに始まり、冬の集報に終わるこの一連の営みが、10号を越え、府大歴史学科の伝統として根付きつつあること。フィールドをご提供いただいた関係各所のご厚意に深く感謝申し上げたい。

なお本書の組版作業は、歴史学科文化遺産学コースの合同実習メニューとして学部生がAdobe社のInDesignを利用しておこなっているが、もちろんそのままでは本にはならない。一書にまとめるにあたって力を尽くしてくれた大学院生の頑張りにも深く感謝したい。(い)

京都府立大学文学部歴史学科

フィールド調査集報 第11号

編集・発行 京都府立大学文学部歴史学科

〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5

発行日 2025年3月31日

印刷 株式会社 北斗プリント社

〒606-8540 京都市左京区下鴨高木町38-2
